事業所における自己評価結果(2023年度)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点 を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適 切であるか	0			
	2	職員の配置数は適切であるか	0		利用児の発達などの状況や行事内容、きょうだい児の人数によっては、既定の人数よりも多く職員配置をしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっているか。また、障害の特性に応 じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされているか	0		事業所がテナント2階にあるので、エレベーターが無いなどバリアフリーに対処できていないが、必要とする利用者が今のところいない。壁の掲示物などを必要最小限にし、視覚からの刺激を減らしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	0		利用人数や利用児の発達状況を考慮し、全体がの安全に活動できるような室内の設定(机・玩具など)を振っている。また、隣接する飲度店の所有物(テーブル、油缶、灰にデナント廊下に折り畳み式のゲートを設置した。	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0		日々打ち合わせと振り返りを 行い、職員間の共通認識を深 め、改善に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげているか	0		保護者からの要望があれば、 できる限り迅速に改善するよ う努めている。	
業務	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の 結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと ともに、その結果による支援の質の評価及び改 善の内容を、事業所の会報やホームページ等で 公開しているか	0		2023年度分は、2024年2月に ホームページに掲載。	
改善	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか		0	現在行っていない。	保護者等からの事業所 評価で頂いたご意見を 参考に業務改善を行っ ていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	0		積極的に外部研修に参加し、 事業所で伝達研修を行っている。 また月1回内部研修を設けている他、必要に応じて研修を 行っている。職員以外のス タッフも参加できるよう努め ている。	

	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発 達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成 しているか	0		契約時に保護者から丁寧に聞き取りをするよう心がけている。保護者が望む支援と子どもの姿に考慮し、必要な課題を設定している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか		0	契約時に子どもの発育や生活 面の状況、好きな遊びや家庭 での様子等、丁寧に聞き取り を行うよう心掛けている。ま た、発達検査の結果など保健 センターから申し送っても らっている。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画 には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択 され、その上で、具体的な支援内容が設定され ているか	0		保護者からの聞き取りを丁寧 に行うよう心掛け、必要な支 援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画 に沿った支援が行われているか	0		個別支援計画の課題に沿った 活動を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	0		月1回の定例会議で行事内容や 保育案を考え、必要に応じて 話し合いを行っている。	
適切な支援	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0		子どもたちが活動に見通しを 持てるよう、保育の大まかな 流れは固定している。散歩 コースや活動場所、遊び大を エ夫している。また、数製作や エズム、クッキング、父親っ 観等の行事を定期的に行って いる。	
の提供	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか				
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等 デイサービス計画を作成しているか	0		集団活動を行う中での個々に 対する支援内容を、一人一人 の発達段階に応じて考え、作 成している。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認 しているか	0		その日のリーダー保育士が主 となり日案を作成し、保育開 始前に全職員で打ち合わせる。必要に応じて、利 用児や保護者の様子、前日の 保育の申し送りを行ってい る。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか	0		リーダー保育士が日案を持って行い、保育終了後に活動内容・利用児や保護者の様子・ヒヤリハット等を共有し、振り返りを行っている。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか	0		振り返り終了後に、日案と利 用児の記録を職員が記入して いる。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計 画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要 性を判断しているか	0		半年以内に1回の見直し(前期・後期)。各ケース毎に検討を行い、発達状況や支援内容、今後の課題について職員間で話し合っている。	

2 2 か、							
23 元の子とかの状況を が参画しているが、 (災害発達支援の共) 24 (災害発達支援の共) 24 (機械関と連集した支援を行っているか の子の保険や子とも・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わ				
② (根接発達支援のみ) ② (根接機等デイザービスのみ) ② (放け機等デイザービスのみ) ② (放け機等デイザービスのみ) ② (放け機等デイザービスのみ) ② (放け機等が出来 (年間計画、行事予定等の交) ② (放け機等が出来 (年間計画、行事予定等の交) ② (返避時の対応、トラブル発生時の連絡) を追 ② (返避時の対応、トラブル発生時の連絡) を追 ② (返避時の対応、トラブル発生時の連絡) を追 ② (返避時のアが必要な子どもや重症の身間害の ② おようども可等を実援している場合) ② (返避 的ケアが必要な子どもや重症の身間害の ② おようども可等を実援している場合) ② (便差を建実形のみ) ② (便差を建実形のみ) ② (便差を建実形のみ) ② (便差を建実形のみ) ② (便差を建実形のみ) ② (便差を建実形のみ) ② (例差を選及が対している場合) ② (例差を選及が対している場合) ② (例差を選及が対している場合) ② (例差を選及が対しているがで、の場合) ② (例差をでは支援内容等の情報共者と相互理部を図っているか) ③ (例差を選支援のみ) ③ (例差をです、対しているがので、) ③ (例差を選及が対しているが) ③ (例差を選及が対しているが) ③ (が、対しているが) ③ (が、対し、対しているが) ③ (が、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、		23	その子どもの状況に精通した最もふさわしい者		0	ターからの紹介で、現在、相 談支援事業所を利用している	談支援事業所とも連携
学校との情報共有(名間計画・行手子定等のの交 (返回中の対応、トラブル発生時の連絡)を適 切に行っているか (医療的ケアが必要な子どもや重症の身障害の ある子とも等を支援している場合) 型域の特徴、医療、障害権社、保育、教育等の 関係機関と機した残産を行っているか (医療的ケアが必要な子どもや重症の身障害の ある子とも等を支援している場合) 学を大きの主治医や協力医療機関等と連絡体制を 室えているか (児童発達支援のみ) (現童発達支援のみ) (現童発達支援のみ) (別童発達支援のみ) (別電解の情報共有と相互理解を図っているか (別電解の情報共有と相互理解を図っているか (別電解の情報共有と相互理解を図っているか (別電解の情報共有と相互理解を図っているか をしたしているが終末編記に選出しているが をしたしているが終末編記に選出しているが をしたしているが終末編記に選出しているが (別のである所に表現である場情報共有と相互理解析を対象する場合とない。 (別のであるの情報共有と相互理解析を図が表現であるが、例のであるが、例のである。 (別は機能をデイサービスのみ) が推園、影響を選生支援を実所等との間で情報共有と相互理 (放験検索ディサービスのみ) が推園、影響を選生支援を実施する場合とでいるか 学校をで考えし、放験検索ディサービス事業所から それまでの支援の図客の情報を提供する等しているか の別金を選支援を受けているか 他の別金を選支援でリクー等の専門機関と連 がし、助言や研修を受けているか の別金を選支援でリクー等の専門機関と連 横関、 の別金を選支援でリクー等の専門機関と連 がし、助言や研修を受けているか の別金を選支援でリクー等の専門機関と連 が、の別金を選支援でリクー等の専門機関と連 が、の別金を選支援でリクー等の専門機関と連 が、の別金を選支援でリクー等の専門機関と連 が、の別金を選支援でリクー等の専門機関と連 が、の別金を選支援でリクーをの専門機関と連 の別金を選支援でリクーをの専門機関と連 の別金を選支援の場合は、保育所や認定こども一 図、が解しているが影響を受けているか やからで表し、などの表し、などの表しました。 を関するが表しました。 を関するが表しました。 が、の別金を対して、このの別の表しました。 を関するが関するででであた。 別用者に対して、法人のイベントや取り出入への参加を呼 びかけている。		24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関	0		施設や事業所主催のつどいの 日との情報共有をしている。 保健センターとの協議を年1回	
26 ある子ども等を支援している場合) 地域の保健、陸客補法、保育、教育等の 関係機関と連携した支援を行っているか (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の ある子ども等を支援している場合) 子ともの主治医や協力医療機関等と連絡体制を 要えているか (興奮発達支援のみ) 27 発行支援として、保育所や認定こども圏、幼稚園、特許支援学校(幼稚部)等との間で、支援 内容等の情報共有と相互理解を図っているか (児童発達支援のみ) 27 科介交援して、小学校や特別支援学校(小学部)等として、小学校・特別支援学校(小学部)等とので、支援 内容等の情報共有として、大規向容等の情報共有と相互理解を図っているか (児童発達支援のみ) 28 経済学イザービスのみ) 29 科別との間で、自然の容等の情報共有と相互理解を図っているか (放護後等デイザービスのみ) 30 幼稚園、児童部に努かているか (放護後等デイザービスのみ) 50 松譲後等デイザービスのより 50 松譲後等デイザービス事業所が 50 協憲福祉サービス事業所係を関係を発けているか (放護後等デイザービスのみ) 51 佐藤吉福社サービス事業所係との開で情報共有と相互理解に努かているが (放護後等デイザービスのみ) 52 佐藤吉福大ザービスの事の情報を提供する等しているが (放護後等デイザービスの事の情報を提供する等しているが (放護後等デイザービス事業の情報を提供する等しているが (放護後等デイザービス事業の情報を提供する等しているが、定達の議論を発しているが、定達の議論を発している。 現事発達支援の場合と乗行が認定こども 国人が経過されている。 利用者に対して、法人のイベース・アトや取り組みへの参加を呼びかけている。 24 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ど		25	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適				
27		26	ある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の				
28		27	ある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を				
や保護者として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか (児童発達支援のよ) 78 (係機	28	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚 園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援	0		ター・保育所・幼稚園へ必要 に応じて申し送りをしてい	
携関係 (放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、	や保護者との	29	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理	0		望に応じ、就学指導に関して 小学校や教育委員会と連絡を 取り、情報共有を図ったり、 学校見学の付き添いを行って	
保護者との連携 31 に対しているか (水源後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか (水源後等でイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか (本の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか (本の講演会を行っている。 (本の講演会を行っている。 (本の講演会を行っている。 (本の講演会を行っている。 (本の講演会を行っている。 (本の講演会を行っている。 (本の場合は、保育所や認定こども (本の場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか (も立支援) 協議会子ども部会や地域の子ど (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ど (も立支援) 協議会子ども部会や地域の子ど (もつ支援) 協議会子ども部会や地域の子ど (ものようには、水源後に関する。 (ものない子どもと活動する機会があるか (ものない子どもと活動する機会があるか (ものない子どもと活動する機会があるか (ものない子どもを活動する機会があるか) (ものない子どもと活動する機会があるか) (ものない子どもと活動する機会があるか) (ものない子どもと活動する機会があるか) (ものない子どもと活動する機会があるか) (ものない子どもと活動する機会があるか) (ものない子どもと活動する機会があるか) (ものない子どもと活動する機会があるか) (ものない子どもと活動する機会があるか) (ものない子どもというない子がようないますない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようないますない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようないますない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようないますない子がようない子がようない子がようない子がようない子がようないますないますないますないますないますないますないますないますないますないます	携 関 係 機 関	30	就学前に利用していた保育所や認定こども園、 幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共				
連携 82 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか 83 児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ど	保護者と	31	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等して				
園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか 利用者に対して、法人のイベントや取り組みへの参加を呼びかけている。 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ど びかけている。	連	32	所、発達障害者支援センター等の専門機関と連	0		行った。また、発達相談員の センター職員を講師に招き、	
		33	園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があ		0	ントや取り組みへの参加を呼	
		34		0			

1						
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	0		親子通所のため、常日頃から家庭での様子を聞き取った発見での様子を引き取った発生が、事業所での子え、ているとは、本の教し、ないのでは、本の教し、ないのでは、ないでは、ないのでは、な	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対して家族支援プログラム(ペアレント・ト レーニング等)の支援を行っているか		0	外部講師に依頼し、子育てや 発達についての講演会を実施 している。定期的に保護者交 流会を企画し、親同士がつな がり合うピアサポートを中心 に支援を行っている。	
	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか	0			
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画 を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計 画の同意を得ているか	0		利用開始から1カ月以内に個別 支援計画の提示を行い、同意 を得ている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	0		契約時にアセスメント、半年に1回個人懇談を行っている。 保護者からの希望に応じて相 談の時間を設けたり、子ども の状況に合わせてこちらから 声かけしている。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いるか	0		月1回の学習会(交流会)に加え、不定期で交流の場を設けている。OB会(小学生保護者対象)を立ち上げ、保護者交流会の支援を行っている。	
保護者への説	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応しているか	0		保護者から相談の希望があれ ば迅速に対応している。	年度後半は利用人数増加の影響があるのかい 気軽に相談を持ちかかけにくい保護者がいる整に にくいので、体制を整 え、周知に努めていきたい。
明責任等	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信しているか	0		月1回おたよりを発行している。 併行保育利用者には、必要に応じておたよりを配布。また保育終了後、保護者に対して写真を提示しながら振り返りを行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	0		職員以外のスタッフにも個人情報取り扱いについての同意を得ている。重要書類は利用者から見えない場所に保管。個人情報が記載された書類は、使用後シュレッダーで廃棄している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	0		具体物を見せて誘いかけたり、わかりやすいことば違いで関わるよう心がけている。 保護者に対しては活動中の注意事項を繰り返し伝えたり、 行事の前日にはメールでお知らせし、確認している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開 かれた事業運営を図っているか		0	法人の行事に事業所として参加し、周知に努めている。
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周 知するとともに、発生を想定した訓練を実施し ているか	0		各種マニュアルは毎年見直 し、保育室に掲示している。 特に保育中の事故を受け、緊 急時対応マニュアルの改善を 行った。 年1回、警察署の協力を得て防 犯訓練を行っている。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	0		火災・地震の防災訓練を定期 的に実施。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認しているか	0		契約時に生育歴・既往歴・服 薬の状況を確認している。て んかん発作・アレルギー等の 項目をより細かく確認する ツールを作成し、活用してい る。
非常時等の対	49	食物アレルギ―のある子どもについて、医師の 指示所に基づく対応がされているか	0		現在、指示書等で対応する ケースはないが、契約時に離 乳食未完了の食べ物やアレル ギーを保護者から聞き取り し、クッキングや昼食時は十 分に留意している。
応	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 しているか	0		ヒヤリハット報告書を見直 し、小さな出来事(ヒヤリ ハット)も話し合えるように 工夫している。定期的に安全 対策の話し合いを行ってい る。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	0		虐待に関する外部研修に参加。毎年内部研修を行い、職 冒間で話し合いを重ねてい る。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか		0	身体拘束や虐待につながる行為について職員間で話し合い、共通認識を図っている。 保護者に対しては、必要に応じて怪我や事故を防ぐ目的での行動制限をすることがあると伝えている。